

雷神社祭典梵天奉納

西荒井地区にある「雷神社」は厄除神、また落雷除神として信仰されてきた神社です。今年の8月14日に「梵天奉納」が15年振りに地域の皆さんの手で行われました。

「梵天の話は出ていたが、人手や準備の面など難しかった」とのことでしたが、「子どもたちに梵天を見せたい」と若い人たちの声もあり、地域で取り組むことに。また、伝統行事を行

うに当たり、地域運営体からホラ貝購入の補助をもらえたことも一つのきっかけと言えます。梵天作製にも、大人から子どもまで地域の皆さんが参加。祭典当日も朝早くから夜まで、みんな協力し地域の家々を回りました。

15年ぶりの梵天は、地域の活気、コミュニケーションに大いに繋がりました。



地域が繋げる伝統

繋がりが生む活力



ほうれん草ピューレを使った試食会

「ほうれん草の値も下がり農家数も減ってきた事で、新たな取り組みを考えていた。産業振興として地域運営体の協力もあり会を立ち上げた。しっかりした地元ものを使い、生産者の顔の見える商品を目指している。分量や保存の方法等課題は多いが、ほうれん草ピューレの試食会を通じて良い商品を作りたい」と語る阿部会長。

ほうれん草ピューレ



大人から子どもへ地域の活力を
知恵や文化を
伝えていくために
澤山純二会長

西明寺地域運営体

地域運営体の活動を通して、地域に活力を出していくためにがんばっていかねければと思っています。

最近はおじいちゃん、おばあちゃんの知恵が薄れてきている。親から子へ、孫へ、地域の知恵を当たり前前に継承していけるような、活力ある地域作りを進めていきたい。

地元ものを食べてもらいたい、多くの人に味を知ってもらいたいと「オーリーブの会」の熱心な活動は続きます。



ピューレ試作品 阿部昭司会長